

SIO Logger Help

2022, 10 v02

このファイルは Sio_logger をお使い頂くにあたりご注意ください事を記載しています。
諸環境での動作検証が不十分な為、バグや動作しない等ございましたら一報頂けると幸いです。
また、本プログラムの使用により万一損害（他データの破損・業務の中断・損失などによる損害を含む）が生じ、第三者からの賠償請求の可能性がある場合でも、一切責任を負いません
ことをご了承の上お使いください。

初期値[select = 1]で USB ポートを自動認識しますが、他にも接続している場合はリストとして表示されオープンした com ポートが確認できます。

ファイルは sio_logger_.exe / config.ini / sio_logger_help.pdf で構成されています。

初期設定ファイル config.ini は sio_logger_.exe と同じフォルダーに置いてください。

データは初期設定 /sio_log/data の中に下記の構成でデータがファイリングされます。

フォルダーが既にある場合はそのまま使いますが無い場合は新しく作成します。

ファイルは通常 YYYYMMDDhhmm.csv として保存されますが、試験等何らかの理由により
同一時間（分単位）のファイルが存在する場合は、ファイル名にbを追加して保存します。

例： 202210101230.csv → 202210101230b.csv (YYYYMMDDhhmmb.csv)

尚、ファイル名は PC の時刻から引用されますので、測定開始前に PC の時刻を合わせて下さい。

PC とセンサーの時刻が異なる場合、センサーデータが本来の時刻ファイル内に入らない場合があります。その際前後の時刻ファイルに入る事になりますのでご確認ください。

起動は USB (変換) ケーブルを接続し、USB 端末が動作している状態で sio_logger_.exe を
ダブルクリックして下さい。黒画面 (DOS 画面) が動作モニター画面として開きます。

USB の初期化エラーの場合やデータが入らない場合 ini ファイルのポート設定を確認してください。

ini ファイルが UTF-8N で保存されていない場合や USB 端末の接続が確認できない場合、
起動エラーとなりモニター画面が一瞬開きますがすぐに閉じます。

プログラムの停止は Ctrl + C 又は Break で停止します。（強制停止です。2022/10 現在）

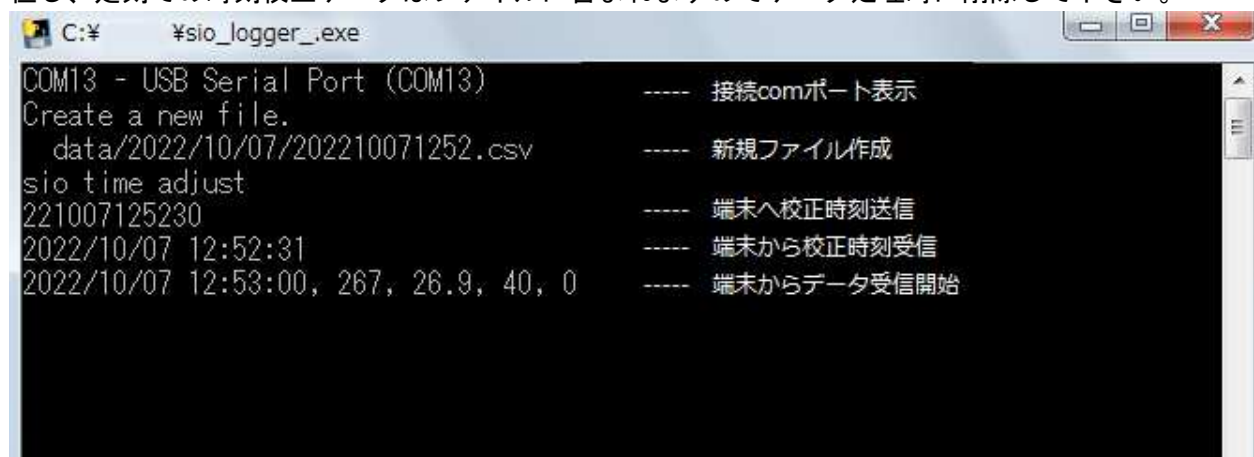
データを連続で受信している場合反応が遅れる場合があります。

モニター（黒）画面が閉じて終了となります。

正常に起動した場合、↓画面が開き、受信データが表示されます。

途中 open file ***** 等のメッセージが表示されますがファイルには含まれません。

但し、定刻での時刻校正データはファイルに含まれますのでデータ処理時に削除して下さい。



```
C:\¥ sio_logger_.exe
COM13 - USB Serial Port (COM13)      ---- 接続comポート表示
Create a new file.                   ---- 新規ファイル作成
  data/2022/10/07/202210071252.csv   ----
sio time adjust                       ---- 端末へ校正時刻送信
221007125230                          ---- 端末から校正時刻受信
2022/10/07 12:52:31                  ----
2022/10/07 12:53:00, 267, 26.9, 40, 0 ---- 端末からデータ受信開始
```

データフォルダー・ファイル構成例

¥sio_log/data

```
→2022      (年 Folder) 以下データ Folder
  →10      (月 Folder)
    →1      (日 Folder)
      202210010000.csv  2022/10/01_00:00 ~ 00:09 のFile
      202210010010.csv  2022/10/01_00:10 ~ 00:19 のFile
      .
      202210012350.csv  2022/10/01_23:50 ~ 23:59 のFile
→2          (日 Folder)
  202210020000.csv  2022/10/02_00:00 ~ 00:09 のFile
  202210020010.csv  2022/10/02_00:10 ~ 00:19 のFile
  .
  202210022350.csv  2022/10/02_23:50 ~ 23:59 のFile
  .
```

ini file 初期設定値

必要に応じて config.ini を編集して下さい。

プログラム動作中の編集は編集後 sio_logger_.exe を再起動する必要があります。

また変更した際、ファイルは UTF-8N で保存して下さい。

[Commport]

```
select = 1          0=comm_port 設定を使用する。1=自動判別(1ch だけの場合に有効)
comm_port = 3      PCに接続されている USB-232C 変換ケーブルのポート番号
                    select=1 の場合にリストで出てきます。
                    不明な場合 Windows ではデバイスマネージャー等で確認して下さい。
                    センサーの 232C スピードに合わせてください。
                    Data_8bit / Start_1bit / Stop_1bit / parity_No
read_tout = 1      読み込みのタイムアウト 単位 (秒) 1 秒~3 秒程度
write_tout = 2     書き込みのタイムアウト 単位 (秒) 通常規定しなくても良い
inter_tout = 0.2   連続するデータの場合、切れ目を設定する。
```

[Folder]

```
Save_dir = data/   データ保存フォルダー
```

[Time_adj]

```
t_adjust = 1       センサーの時計 (RTC) 更正データを出力する=1 or しない=0
Delimita = a       データフォーマットは Delimita + YYMMDDhhmmss
adj_time = 123000  校正時間、****00 (秒は固定です)。
                    出力例 : aYYMMDD123000
```

尚、本プログラムは予告無く改良・改版を行います。